



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 情報・宣伝部
2023年6月20日 No.635

第12回定期大会 運動方針（案）第一次草案 職場討議資料

私たち東日本ユニオンは7月5日（水）に、東京都・田町交通ビル大ホールで「第12回定期大会」を開催します。今定期大会では「第11回定期大会」以降の取り組みを振り返り、向こう1年間の運動方針を確立するとともに、結成から10年の節目を迎える中「労働条件の維持・改善・向上の実現」と「組織拡大の実現」を東日本ユニオン運動の両輪として、全組合員で東日本ユニオンの将来展望を切りひらく定期大会をつくりだしていきます。

全組合員による「第12回定期大会」の成功にむけた真摯な討論と、職場討議を要請します。

第12回定期大会 スローガン（案）

<メインスローガン>

JR労働者が働きがいを得るJR東日本と安心を得る社会をつくろう！

<サブスローガン>

1. 職場にひそむ危険作業の抽出と問題解決を通して、すべてのJR労働者の死亡事故・重大労災事故を撲滅しよう！
1. 全組合員参加の労働組合運動を通して、組織強化・拡大に取り組もう！
1. あらゆる労働条件・労働環境を総点検し、働きやすい職場をつくろう！
1. 2023年度年末手当・2024春闘をすべてのJR労働者と共闘・連帯し、勝利しよう！
1. JR東日本の発展に寄与する労働組合として、チェック機能を発揮しよう！
1. 平和憲法と民主主義を守るために、すべての労働者と連帯しよう！



I はじめに

日頃より東日本ユニオン活動へのご理解、ご協力とともに「安全・安定・安心輸送」に従事されているすべてのJR労働者のみなさんに感謝を申し上げます。

私たち東日本ユニオンは、2023年12月16日に結成10周年を迎えます。結成の理念でもある「JR労働運動の一元化」にむけ、組織強化・拡大を運動の大きな柱としてきました。この理念は、今後も変わることはありません。引き続き「JR労働運動の一元化」にむけ、あらゆる取り組みを展開します。

私たち東日本ユニオンは、社会や会社の変化点にあっても組織の総力をあげて乗り越え、克服してきました。このことは、役員および組合員による職場での日々のたゆまぬ努力の結果であり、大きな成果であり、かけがえのない財産といえます。今年度は国鉄改革を担い、新たなJR東日本の創造に奮闘された多くの先輩方が定年退職を迎えます。大きな節目の時期を迎える中にあっても、これまで培ってきた力強い団結力と揺るぎない絆をお互いに確認し、未来にむかって大きく羽ばたいていきます。

昨年の「第11回定期大会」以降、各地で組織拡大を実現してきました。このことは東日本ユニオン全体の成果です。全組合員で組織拡大を実感し、喜び合い、成果を確認していきます。

2023 年度夏季手当においては「年間最低 6.0 ヶ月以上の期末手当水準を取り戻す」ことを柱に「統一行動」を展開してきました。6 月 7 日に示された会社回答は、私たちの要求から大きくかけ離れただけでなく、追加支給は勝ちとれませんでした。要求実現にむけた組合員のみなさんの誠実で真剣な取り組みを通じて、J R 労働者のみなさんから 2023 春闘を大きく超える「声」が寄せられました。この「声」は私たちにとって大きな原動力となりました。

私たちは引き続き、J R 労働者の利益を守ることを最優先の一つひとつ丁寧に会社施策と向き合い、組織全体で運動を展開していきます。

今定期大会は、結成 10 周年の歩みの地平に立って未来にむかってスタートを切る大切な大会です。2022 年度年末手当から 2023 春闘、そして 2023 年度夏季手当の取り組みを通じて大きな組織の飛躍を勝ちとった成果を確認し、東日本ユニオンの団結と強化・拡大にむけて全代議員の活発な発言で、より豊富化した「第 12 回定期大会」になるよう要請いたします。

II 主な活動報告について ※略

III 情勢の特徴 ※略

IV 運動の基調

新年度における私たちの目標の 1 点目は「組織拡大の実現」です。組織拡大を実現するための課題の 1 つ目は「組織拡大の実現にむけた取り組み」を各機関で振り返ることです。取り組みの中身を掘下げる議論を通して、今年度の取り組みにつなげていきます。2 つ目の課題は「組織拡大の実現」にむけた具体的な取り組みをつくりだすことと組織体制を構築することです。組織拡大の実現にむけ、組合員と取り組みを豊富化し、組合員と役員が一緒に実践していきます。同時に「規約・規則」に則った組織運営のもと、取り組みをつくりだす組織体制を構築していきます。

2 点目の目標は「労働条件の維持・改善・向上を実現する」ことです。退職まで安心して働くことができる J R 東日本をつくるためには、賃金をはじめとした労働条件に関する課題が山積しています。

さらに、経営側が「変革 2027」の実現にむけた様々な会社施策を実施する中で、現場では「労働協約」や「就業規則」などの拡大解釈により「人がルール」になっていく恐れがあります。このことは「安全」を脅かすだけでなく、労働時間のあいまいな管理・運営や無理な作業指示などにつながり、J R 労働者の賃金や健康に多大な影響を与えることとなります。労働組合としての力と質をさらに高めながら、安全の確立をはじめ会社施策、企業活動に対するチェック機能を発揮していきます。

昨年 2 月にロシアがウクライナへ軍事侵攻を開始してから 1 年以上が経ちました。私たちは労働者として、さらに鉄道労働者として、あらゆる戦争政策に反対し、平和憲法と言論や組織の自由を守るために行動していきます。

V 運動の具体的な取り組み

1. 組織強化・拡大の取り組み

- ・職場諸問題や業務課題の克服を通じ、組織強化・拡大をめざします。
- ・「J R 労働運動の大同団結・一元化」の実現にむけて、あらゆる取り組みを進めます。

2. 安全の確立にむけた取り組み

- ・労働組合として「すべての J R 労働者の死亡事故・重大労災事故ゼロ」をめざすことを柱に、職場の「事故の芽」を摘出し、死傷事故を起こさせない労働環境と職場風土をつくりだします。

V 運動の具体的な取り組み

3. 労働条件の維持・改善・向上にむけた取り組み

- ・「労働条件に関する協約」の改訂に継続して取り組みます。
- ・経営施策や各制度について「安全」「健康」「働きがい」「サービス」の視点から検証し、JR労働者としてのあるべき施策とするための要求・提言に取り組みます。
- ・「2023年3月ダイヤ改正」において実施された乗務員運用行路における「その他時間」に関する検証および必要により要求を行います。
- ・現在の人事・賃金制度を鑑みた、賃金引き上げおよび手当要求のあるべき姿を全組合員で議論します。また、期末手当に関する議論を前広に展開します。
- ・安心感と働きがいのある「エルダー社員制度」の運用を求めて取り組みをつくりだします。

4. 情報・宣伝活動の取り組み

- ・「東日本ユニオンNEWS」をタイムリーに発行します。

5. レク・サークル活動の取り組み

- ・今後の社会情勢も踏まえながら、組合員同士のつながりと、より親睦を深められるレクリエーションの開催を検討していきます。

6. 政治活動の取り組み

- ・引き続き、平和と民主主義を基調として、中央、地方における従来からの信頼関係をもとに「平和で安心できる生活」と「交通政策課題の解決」をめざして政治活動に取り組みます。

7. 組合員の福利・厚生の実現にむけた取り組み

- ・「交運共済」「こくみん共済 COOP」および「明治安田生命」と連携し、新規および継続加入の取り組みを行うほか、給付申請など各種手続きを中央本部が行っていきます。
- ・働く者の金融機関として、労働金庫の利用を促進します。

VI 財政の確立

○2023年度組合費の取り扱いについて

- ・組合費算定基礎は（基本給×20/1000+600円）×12ヶ月分とします。
- ・業種別協議会費として月100円徴収します。（エルダー社員及び契約社員は除く）
- ・エルダー社員の組合費は（基本賃金×10/1000）×12ヶ月とします。

VII 2023年度組織運営

- ・2023年7月5日（水）に第1回中央執行委員会を開催し、新執行部の成立とします。
- ・各地方本部は2023年9月末日までに定期大会を開催し、機関整備をはかることとします。
- ・「第11回中央委員会」を2024年2月に東京都内で開催します。

**全組合員の方で
「第12回定期大会」を成功させよう！**